



令和5年度 進路だより



第5号
令和5年6月13日（火）
南風原町立南風原中学校
発行者（進路担当）小松

県立高校の合否を決めるもの

そもそも高校入試で、各高校は何を元に合否を決めているのでしょうか？仕組みを理解することで対策していきましょう。

1 入試テスト

◎配点

- ・1教科60点満点
- ・5教科で300点満点のテスト

◎特徴

- ・1問1、2点で35～41問程度
- ・思考力を問うための文章問題が必ず10点出題
(2次募集ではこの得点を除いた点数が合否判定の資料となる。)

《昨年度の思考力問題の内訳》

英語：英作文が2題
国語：作文が2題
数学：証明が2題
理科、社会：出題傾向なしで文章で
答えさせる問題が4～5題



◎日程

- ・1教科50分で2日間で実施。
- ・テスト間の休み時間が校内の定期テストより長く2教科を午前中、1教科を午後に行う

《考えよう》

- ? 定期テストの問題数は50問～60問で、定期テストよりも少ない。なのに、解く時間が同じなのは どうしてだろう？
- ? 試験と試験との間は25分あります。どのように過ごしたらテストの出来は良くなるだろう？

2 内申（裏面にR5年度入試用の調査書を掲載）

◎ 評定点

- ・5教科は評定の値そのまま、技能教科は1.5倍して算出。
- ・1カ年55点満点、3カ年165点満点

理科の3は、そのまま3点
体育の3は、1.5倍で4.5点になる

◎ 実績（総合所見に記載）

- ・検定は、一般的にどんな評価を受けるの？
普段の勉強以外に検定の勉強もやっている（時間の有効利用をしている）。
検定に関わる教科の実力が示される・。

評定が3カ年オール3なら99点

3 面接

◎ 昨年度、どの学校でも質問されていたのは下記の3つ。高校生活への意欲を聞かれています。

- ・志望理由
- ・入学後頑張りたいこと（高校生活で頑張りたいこと）
- ・将来の夢、高校卒業後の新路（なぜその夢にしたのか）